



収穫した大根を切り干しにする明石さん

自家採種重ね自然栽培 風土に合う野菜に育つ

三芳町の明石さん 味が良いと好評

【埼玉】三芳町で無農薬・無肥料の自然栽培で野菜を作る明石農園の明石誠一さん（51）。5・4畝の畑で大根やサツマイモなど60品目の野菜を栽培し、このうち大根やネギなどの40品目は自家採種を行っている。

明石さんは大学を卒業後、会社員を経て2002年に富士見市の農家で研修を受け、三芳町で就農した。研修先では種まきから収穫までの一連の農作業を学んだほか、自分局の食器を用意してもらい、食事を共にするなど家族のように接してもらったと当時を振り返る。三芳町で就農した理由は、研修先やつながりが持てた知人の近くで営農できる環境が整っていたためだ。

「自然が循環している

のを見るのが好き」と話す明石さん。自身の圃場で種を取り、代を重ねていくことで、よりその土地の気候に適した野菜になるという。明石農園の野菜は見た目がバラバラでも味が良いと好評だ。収穫した野菜は詰め合わせセットで個人客に販売するほか、同町や都内の自然食品店、飲食店に卸している。

明石さんは今後について「地域の人と自身の農園で野菜を作り、収穫した野菜で料理やみそなどを作ることができればいい。イベントも企画したい。イベントも企画し、皆の居場所になるようなコミュニティを築きたい」と熱く語る。